

1 目標

印刷に関する見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報デザインと印刷物の作成を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(育成を目指す資質、能力)

- (1) 印刷の各工程について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
(知識及び技術)
- (2) 印刷産業に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、印刷産業の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

(学びに向かう力、人間性等)

(1) 改訂の要点

- ① 今回の改定では、情報社会の進展、印刷産業を巡る状況や印刷技術等の進歩などを踏まえ、印刷の各分野における専門性に関わる資質・能力を「知識及び技術」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に基づいて示した。
- ② 今回の改定では、「見方・考え方」を働かせた学習活動を通して、目標に示す資質・能力の育成を目指す。

(2) 使用している言葉について

- ① 「印刷に関する見方・考え方」とは、人々の情報伝達を支えてきた印刷産業に関する事象を情報伝達やコミュニケーションの視点で捉え、公益事業やマーケティングをはじめとする様々な産業活動と関連付けることやその技術を異なる産業技術に応用したり、新たな情報伝達サービスを創造したりすることを意味している。
- ② 「実践的・体験的な学習活動を行うことなど」とは、具体的な課題の発見・解決の過程で、調査、研究、実験を行ったり、協働して作品を制作したりするなどの実践的な活動、産業現場等における実習などの体験的な活動を行うことが重要であることを意味している。

2 内容

(1) 〔指導項目〕について

今回の改定では、教科に属する全ての科目の「2 内容」においては〔指導項目〕として「(1)、(2)」などの大項目、「ア、イ」などの小項目を、柱書においては「1に示す資質・能力を身に付けることができるよう、次の〔指導項目〕を指導する」と示した。これは、〔指導項目〕として示す学習内容の指導を通じて、目標において三つの力に整理した資質・能力を身に付けることを明確にしたものである。

(2) 科目構成

印刷科に属する科目の構成

「印刷概論」、「印刷デザイン」、「印刷製版技術」、「DTP技術」、「印刷情報技術」、「デジタル画像技術」、「印刷総合実習」、「課題研究」

- ① 科目数は従前10科目を8科目に改めた。
- ② 科目構成については、情報社会の進展、印刷産業を巡る状況や印刷技術等の進歩に対応し、体系的・系統的な知識と技術、課題を発見し合理的かつ創造的に解決する力、職業人に求められる倫理観、自ら学ぶ力、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けた人材を育成する観点から構成。

3 指導計画の作成と内容の取扱いについて

(1) 改善事項

- ① 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにした。
- ② 印刷に関する学科において育む資質・能力の育成に向け、原則として全ての生徒に履修させる科目（原則履修科目）を2科目示すとともに、各科目の履修においては実験・実習を充実させるようにした。
- ③ 印刷産業に関する課題の発見や解決の過程において、協働して分析、考察、討議するなど言語活動の充実を図ることとした。
- ④ 個人情報や知的財産の保護と活用について扱うとともに、情報モラルや職業人として求められる倫理観の育成を図ることとした。

(2) 指導計画作成上の配慮事項

- ① 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。その際、印刷の見方・考え方を働かせ、見通しをもって実験・実習などを行い、科学的な根拠に基づき創造的に探究するなどの実践的・体験的な学習活動の充実を図る。
- ② 印刷に関する各学科においては、「印刷概論」及び「課題研究」を原則として全ての生徒に履修させる。
- ③ 印刷に関する各学科においては、原則として印刷科に属する科目に担当する総授業時数の10分の5以上を実習に担当する。
- ④ 地域や産業界等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験活動を積極的に取り入れるとともに、社会人講師を積極的に活用するなどの工夫に努める。
- ⑤ 「印刷製版技術」、「DTP技術」、「デジタル画像技術」については、学校や地域の実態などを考慮して適切な指導内容を設定し、重点的に取り扱う。
- ⑥ 「課題研究」については、年間指導計画に定めるところに従い、学校や地域の実態、生徒の興味・関心、進路希望などを考慮し、必要に応じて弾力的に授業時間を配当することができる。

(3) 内容の取扱いと指導上の配慮事項

- ① 情報メディアや印刷物に関する課題を明確化して解決するための主体的な情報収集や意見交換を積極的に取り入れ、科学的な根拠に基づいて論理的に説明する言語活動に関わる学習活動を一層重視する。また、印刷に関する知識と技術の定着と概念の深化を図るため、体験したことや解決方法などを説明するなどの言語活動を取り入れる。
- ② コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用し、学習の効果を高めるよう工夫する。また、情報の信頼性や信憑性を見極めたり、確保したりする能力の育成を図るとともに、知的財産権や個人情報の保護をはじめ、科学的な理解に基づく情報モラルの育成を図る。

(4) 実習を行うに当たっての配慮事項

- ① 実習を行うに当たっては、関連する法規等に従い、施設・設備や薬品等の安全管理に配慮し、学習環境を整えるとともに、事故防止や環境保全の指導を徹底し、安全と衛生に十分留意する。また、原液などの処理についても、十分留意する。